

十勝での「在宅歯科医療連携室整備事業」 の取り組み

増地裕幸、小林靖、大滝達哉、但木栄
鳥谷部純行、木本恵美子

420 mm

ご自宅で歯科診療が 受けられます!

十勝歯科医師会には、在宅歯科医療連携室 があります。

在宅歯科医療連携室は、介護が必要で、歯科医療機関への通院が困難な高齢者の方などが対象となる在宅歯科医療(訪問歯科診療)の申込みと相談のための窓口として、十勝歯科医師会に設置されているものです。介護が必要な高齢者等のご家族はもとより、介護サービスを担当している施設・事業所の職員の方、医療を提供している医師、看護士等の医療関係者の方々からの、要介護高齢者の歯科治療や口腔ケアに関する相談や訪問歯科診療の申込みを受け付けています。

【連携室受付時間】 ※専任の相談員(歯科衛生士)が対応します

月曜日～金曜日 9:00～17:00

電話 (0155) 25-2172

FAX (0155) 22-8024

<http://www.ociv.ne.jp/tde118/>

帯広市東7条南9丁目15番地3

※なお、実用性の相談は、あらかじめ電話でご予約をお願いします。



十勝歯科医師会 在宅歯科医療連携室

介護職・看護職のための

口腔ケア マニュアル



北海道歯科医師会在宅歯科医療連携室
十勝歯科医師会在宅歯科医療連携室



○ベット上で介助する場合の体位……全身状態に応じた体位を選択する。

ファーラー位 上体を45～60度挙上した体位、半座位

セミファーラー位 上体を25～30度挙上した体位、頸部を前屈

側臥位 健側を下にした体位

※どの体位であっても頸部を前屈させ、頭部のみ横を向かせる。

健側を下にする、水分を咽頭に流さないなどが原則。

※健側：脳血管障害などによる麻痺などの病気の無い部位（半身）側。



ファーラー位



セミファーラー位



側臥位

○術者（介護者）のポジション

- ・術者が前方から対面して介助する方法と術者が対象者の後方または側方に立ち、体幹や上腕で対象者の頭を支えるように介助する方法がある。
- ・対象者によりどちらのポジションをとるか選択する。

【対面から】 視野は確保しやすいが対象者の頸部が後屈しやすい。

【後方または側方から】 術者の左腕を後頭部に回しているため対象者の体勢は安定しやすく、多少の動きがある対象者の場合もコントロールしやすい。しかし覗き込むような体勢なので視野の確保はやや難しい。



対面からのケア



手のひら上腕、体幹の広い範囲を使用し、体勢のコントロールをする



側方からのケア

②メディアによる啓発活動について

ケーブルテレビ、新聞広告、FMラジオ、タウン情報誌、ホームページ作成などにより、「連携室」に関わる事業の周知活動を行った。

③「連携室」への電話相談について

「連携室」への月の電話相談件数は、H24年内は、月数件であったが、H25年が明けてからは、平均月15～20件の相談が来るようになった。

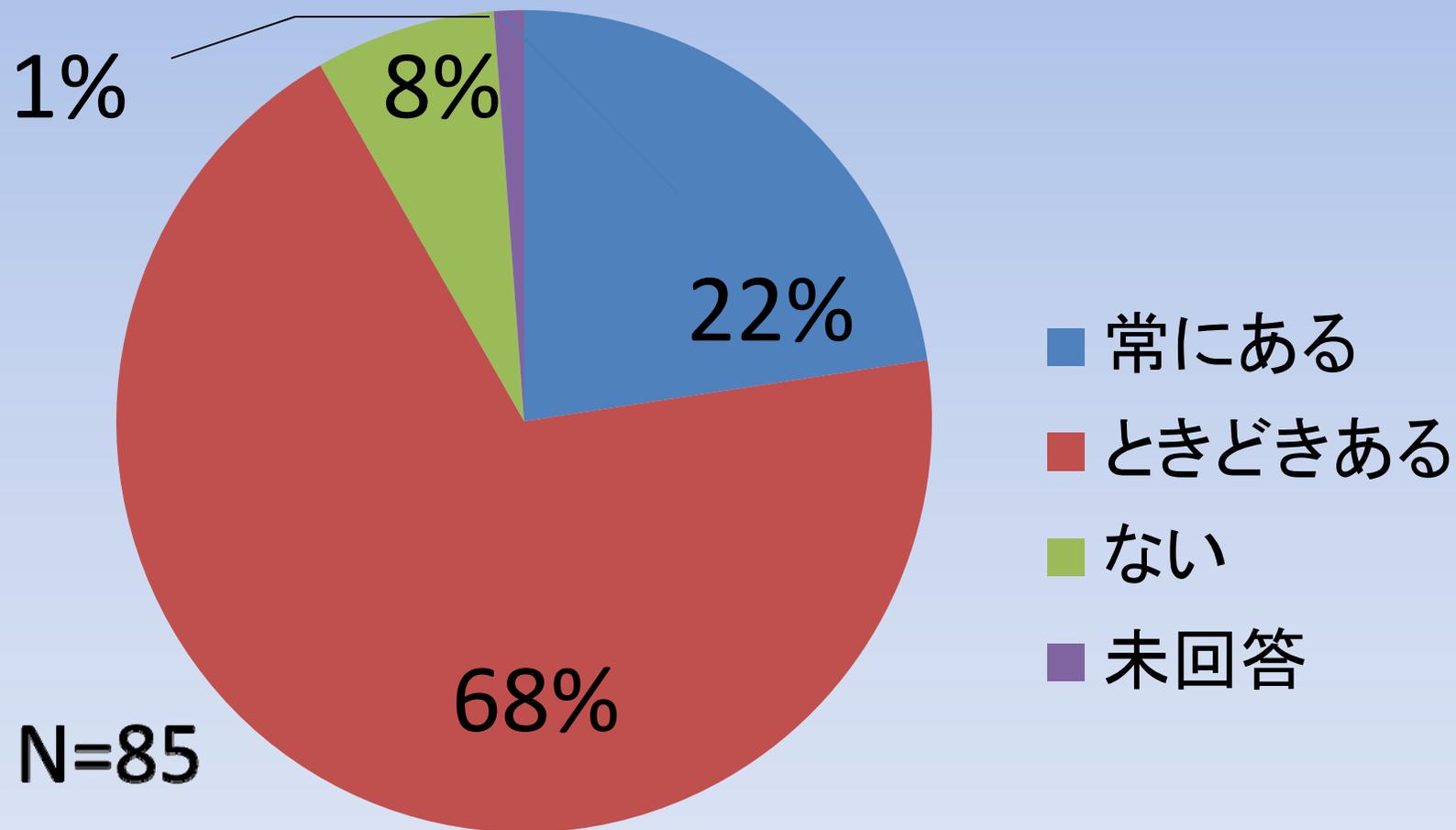
相談内容は、在宅歯科診療希望、在宅歯科診療についての質問、摂食嚥下機能評価・訓練希望、口腔ケア希望などであった。

新聞などのメディア広告の効果と合わせて、医療・介護職種からの依頼が、中心となってきた。

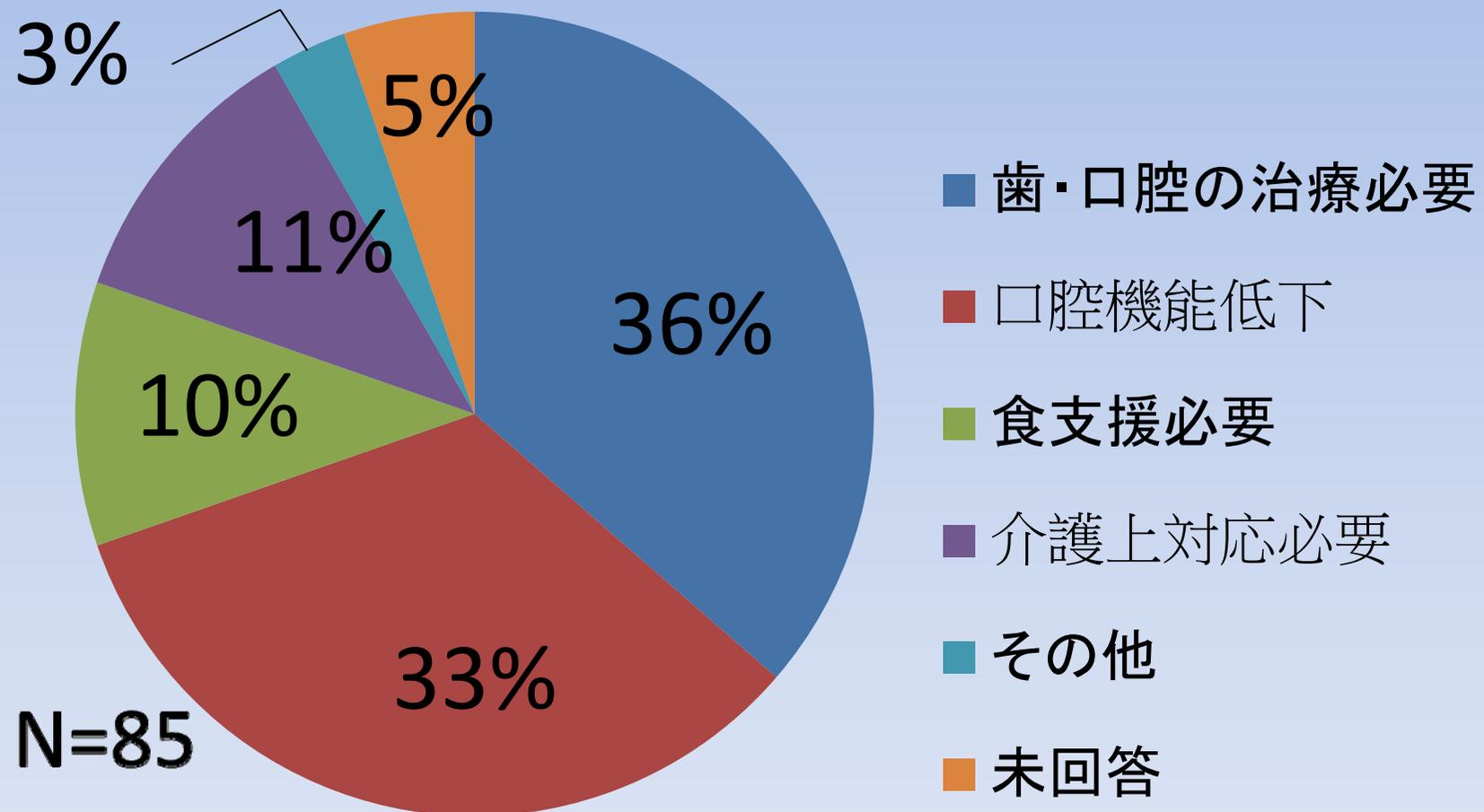
⑤在宅歯科医療連携室推進委員会の開催について

- H25.1月～3月の3回開催
- 委員職種 : 医師・薬剤師・看護師・保健師・ケアマネージャー・社会福祉士・保健所行政担当者
- 医療・介護・行政との連携推進と、事業の意見交換、評価を行った。

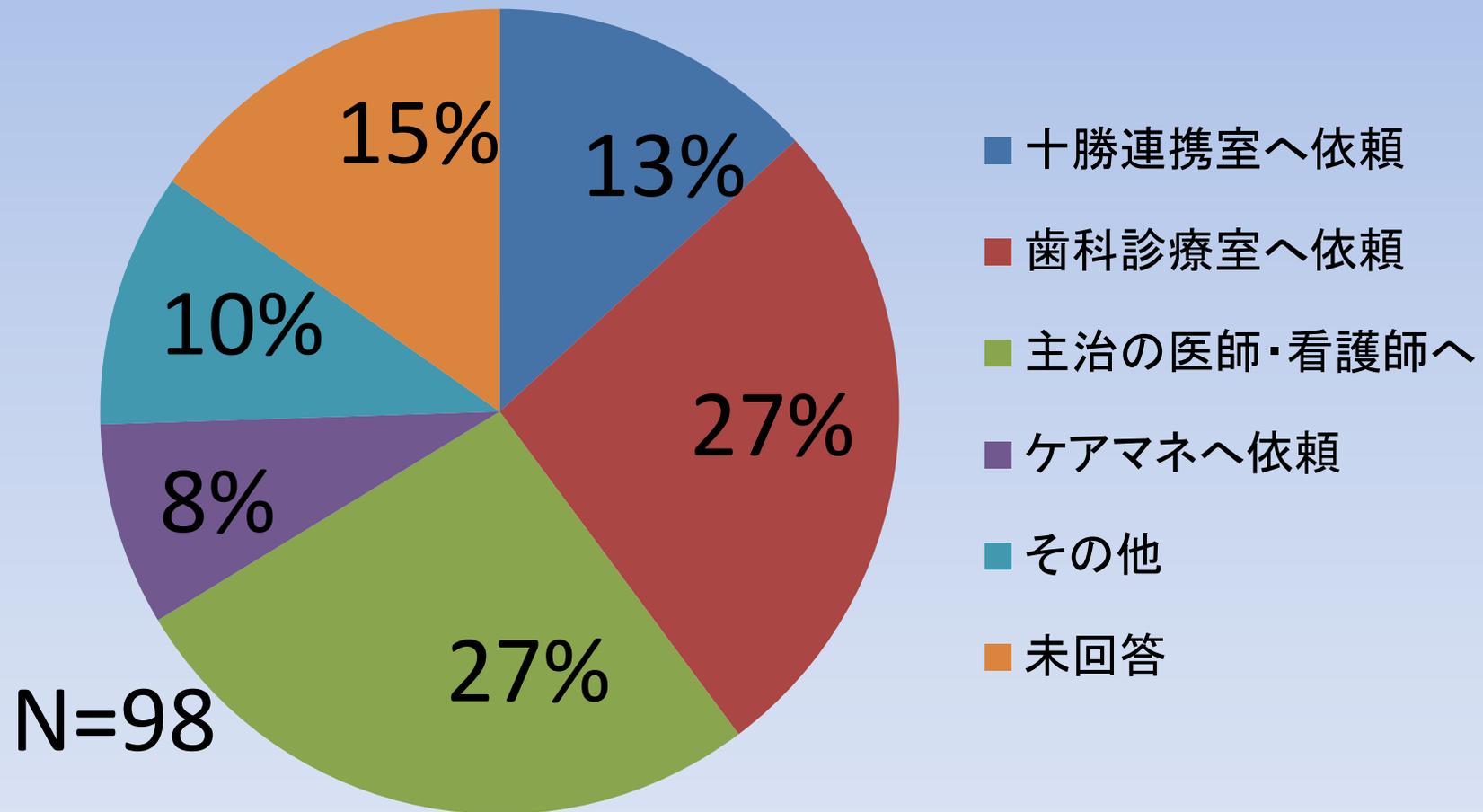
①歯科に関する支援や相談の 必要性を感じたことがあるか？



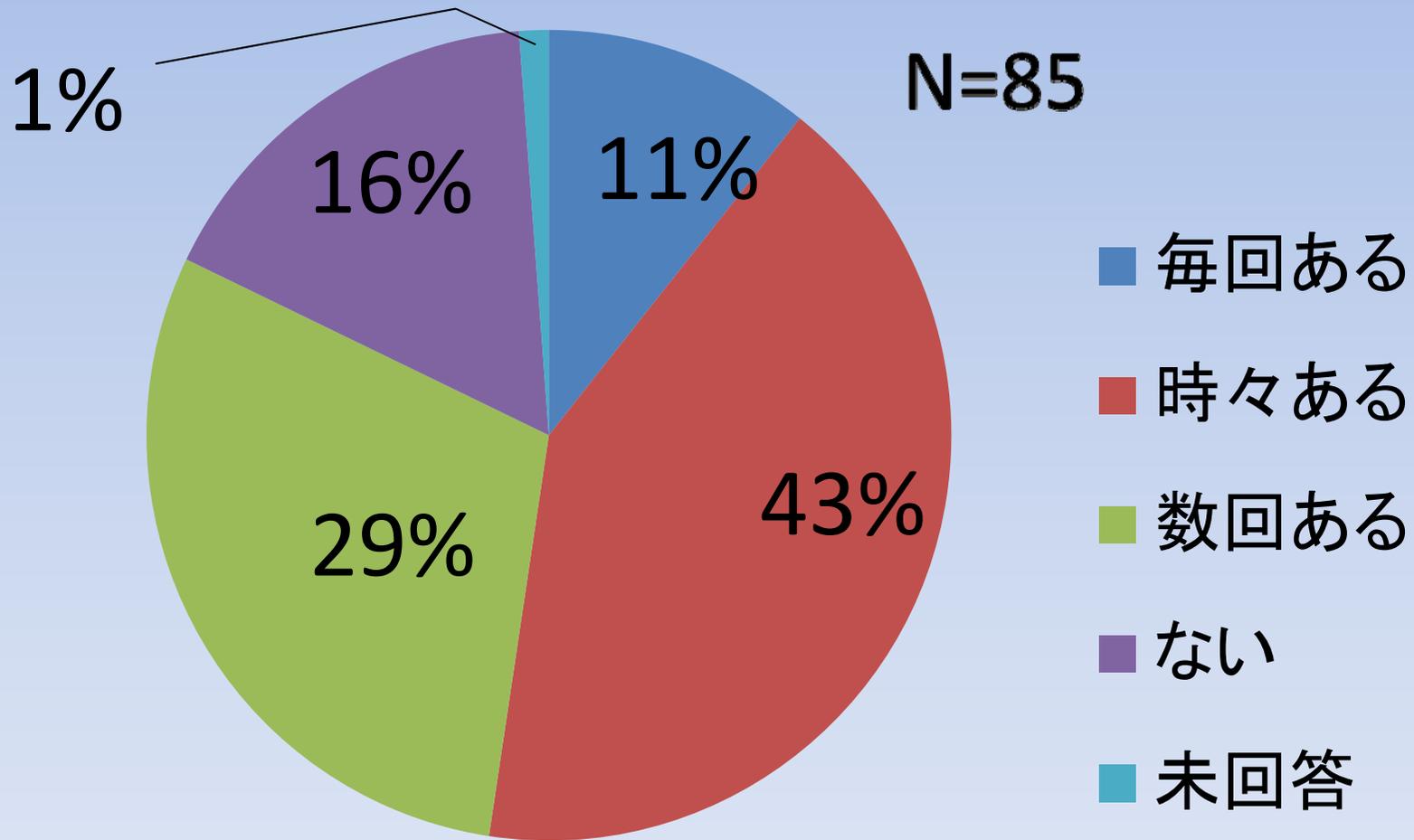
② 歯科に関する支援や相談の必要性を感じたきっかけは何か？



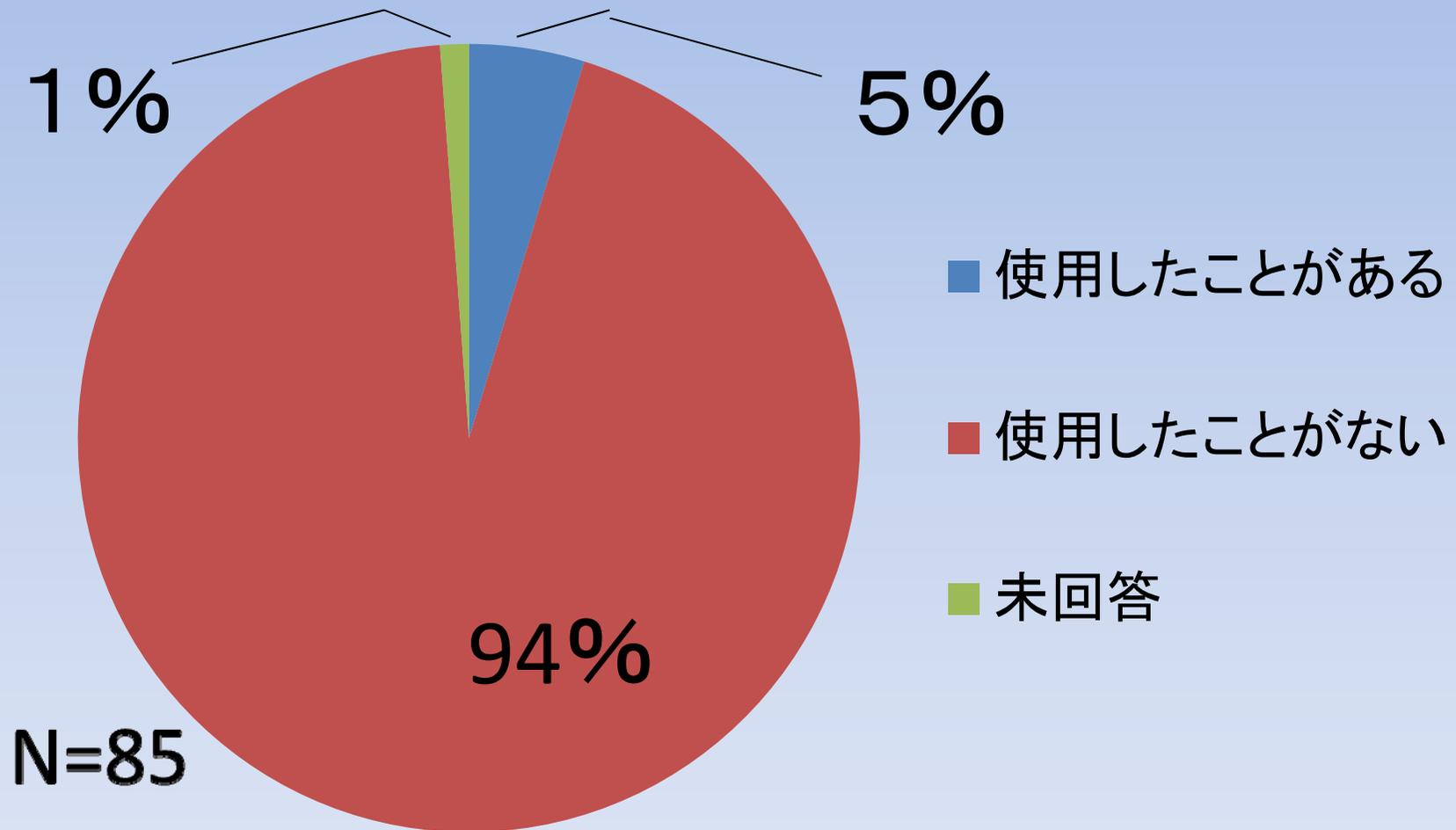
③どのように対応しましたか？



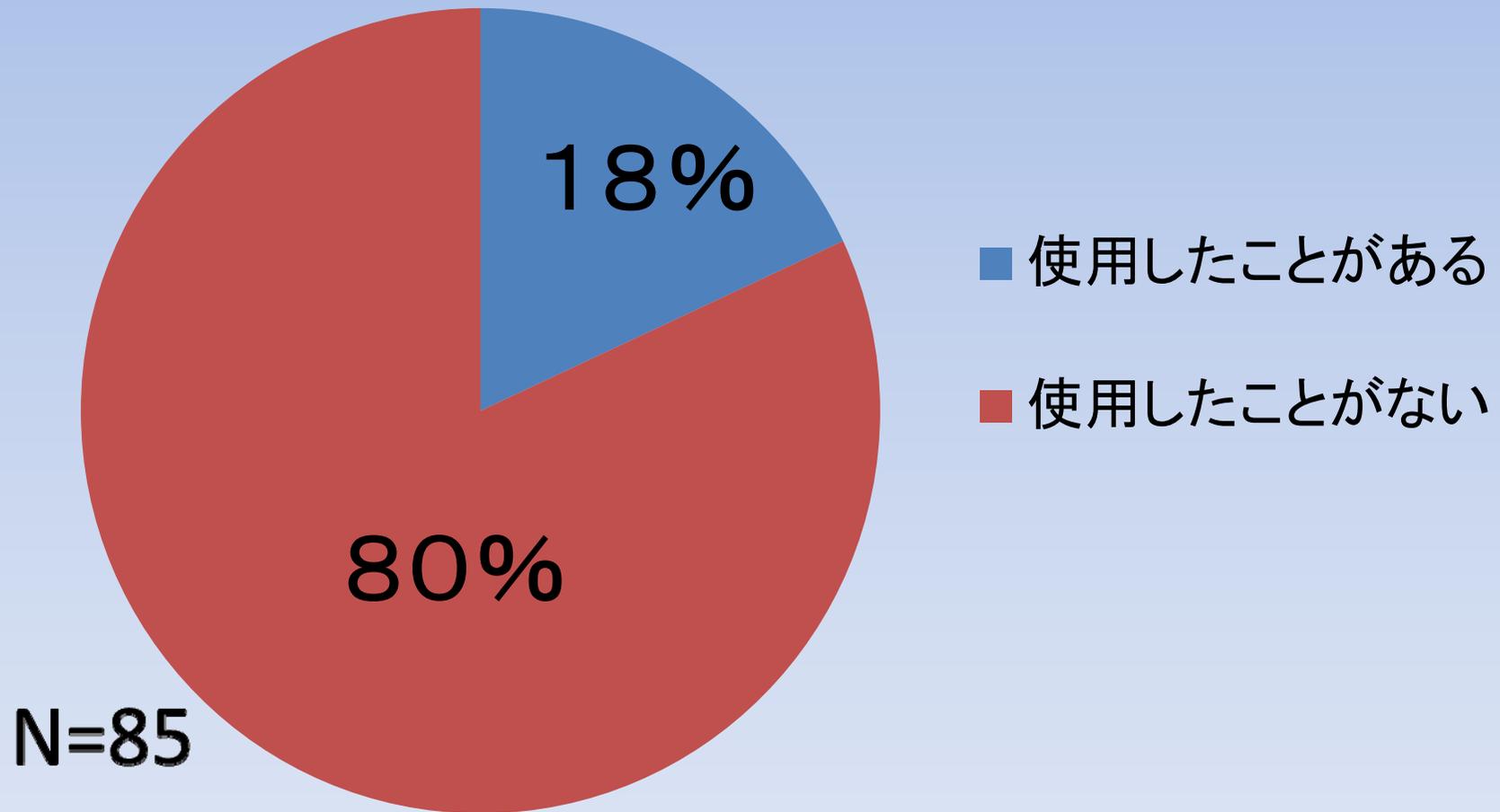
① 歯科的 content について検討される ことがありますか？



①お口の課題チェック票を 使用したことがありますか？



①在宅歯科医療連携室を 使用したことがありますか？



事業考察

今後は「連携室」の**地域職種連携のハブ機能**をさらに高めて周知活動を進めるとともに お口の課題チェック票の精査をし、これを1つのツールとして**顔の見える多職種連携**に寄与し、今後もそれを継続推進していく所存である。

さらには、その多職種連携に寄与できる**歯科衛生士等の人材確保・育成**を進める必要がある。

今後の展開

- H25.4～十勝歯科医師会の独自事業として継続

- 事業方針) ① 歯科医療側の体制強化

- ② 事業の地域への情報発信

- ③ 医療・介護・行政との連携推進

- キーワード) **開かれた「連携室」へ！**

歯科間連携、訪問協力医・相談員のスキルアップ